

## 『ジェンダー研究』編集方針

- 1 『ジェンダー研究』（以下、本誌）は、学際的・国際的なジェンダーに関する最新の研究成果を発信し、グローバルなジェンダー研究の発展に寄与する。
- 2 本誌は、特集記事・投稿論文・書評からなる。
- 3 本誌は特集記事を企画し、時宜にかなったもの、国際的な関心の高いもの、新領域を開拓するものなど、現在のジェンダー研究にとって重要であるテーマで、質の高い論文を掲載する。
- 4 投稿論文は、国内外・学内外を問わず公募し、厳正な審査を経て掲載することで、質の高い学術論文の国内外への頒布を進める。
- 5 書評は、国内外のジェンダーに関する書籍を厳選し、最先端の研究動向の紹介およびそれについての考察を加えた論評を行う。
- 6 本誌の刊行により、国内外・学内外のジェンダーに関する研究の発展を促進し、グローバルかつ有機的な研究交流の構築を目指す。そして、国立大学法人として、男女共同参画社会の実現に貢献する等の、社会的要請にも応える。

## 『ジェンダー研究』投稿規程

- 1 投稿する論文は、女性学・ジェンダー研究に関する、学術的研究に寄与するものとする。
- 2 投稿者は、国内外を問わず、学際的に女性学・ジェンダーに関する研究に従事する、原則として修士号取得相当以上とする。
- 3 投稿する論文は、未発表の論文に限る。なお、この規程に違反した場合、新たな投稿を受け付けられないなど、しかるべき措置をとる。
- 4 論文執筆における使用言語は、原則として日本語または英語とする。日本語/英語以外の言語による投稿に関しては、編集委員会において検討する。
- 5 投稿論文は、
  - ・日本語の論文は、注・図表・参考文献を含めて20000字以内。
  - ・英語の論文は、注・図表・参考文献を含めて8500ワード以内。
  - ・なお、1図表500字相当、1ページを要する場合は1000字相当とする。
  - ・挿図の場合は、1ページあたり1000字、刷り上がり20ページ内に入ることを原則に、およそ20点までとして全体を構成する。
  - ・挿図に用いる図版の掲載許可については、投稿者が自らの責任において然るべき手続きをとる。なお許可に要する費用は、投稿者負担とする。

\* 定められた字数などの制限を超えた場合、形式において甚だしく不備がある場合には、受理できない。
- 6 論文の提出時には、本文・図表・参考文献のほかに、以下についても提出すること。
  - 6-1 表紙。論文タイトル（副題も含む）と投稿者氏名・所属を、日本語と英語とで記す。（タイトル等の英語表記は、確認のうえ編集事務局で変更する場合もある。）

- 6-2 日本語要旨。400字以内。
- 6-3 英語要旨。200ワード以内。ネイティブチェック済のもの。
- 6-4 キーワード。日本語・英語ともに5語以内で、それぞれの要旨の後に記載する。  
なお、執筆者を特定するようないかなる情報（謝辞、科研番号）も記載してはいけない。
- 7 投稿論文は、ジェンダー研究所ウェブサイト上の、以下のいずれかの投稿フォームより、必要事項を入力したうえで、メール添付にて送付すること。  
日本語投稿フォーム <https://form.jotform.me/72482244933459>  
英語投稿フォーム <https://form.jotform.me/72488720633461>
- 8 本文と要旨などのテキストのデータはWordとPDFのファイルにし、図、表のデータはWordまたはExcelとPDFにし、写真はJPEGとPDFのファイルにして提出すること。
- 9 他の文献等から図、表、写真などの転載を行う場合は、原則として投稿者が自らの責任において必要な手続きを行う。その際の費用に関しては投稿者が負担する。
- 10 本文、引用文、参考文献、注については、別に定める<『ジェンダー研究』執筆要項>に従う。英語の投稿論文はStyleSheetforJournalofGenderStudiesとする。
- 11 投稿論文の掲載の可否は、査読者による審査のうえ、編集委員会が決定する。ただし、本投稿規定・執筆要項や本誌の趣旨に合致しない原稿、また学術的論文としての水準を著しく達していないと判断された場合、審査の対象外とする場合もある。
- 12 編集委員会は、査読者の審査にもとづき、投稿者に論文の修正を求めることがある。求められた投稿者は、速やかに論文を修正し、修正対応表をつけて、メールにて提出しなければならない。
- 13 投稿者による校正は原則2回までとする。
- 14 投稿後、投稿論文を取り下げる場合は、速やかに編集委員会に申し出ること。
- 15 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。ただし、図・表・写真などが多い場合には、執筆者による自己負担となることがある。
- 16 掲載論文の著作権はお茶の水女子大学ジェンダー研究所に帰属するものとする。転載を希望する場合には、編集委員会の許可を必要とする。

改訂

2017年10月27日制定

2021年5月14日改訂

『ジェンダー研究』執筆要綱

<http://www2.igs.ocha.ac.jp/wp-content/uploads/2019/11/yoko2019.pdf>

編集委員長 Editor-in-Chief

申 琪榮 お茶の水女子大学ジェンダー研究所 | 政治学、ジェンダーと政治  
Ki-young Shin Ochanomizu University, Politics / Gender and Politics

編集委員 Editorial Board Members

天野 知香 お茶の水女子大学 | 芸術学、フランス近代美術史  
Chika Amano Ochanomizu University, Art Studies/French Modern Art History

石丸 径一郎 お茶の水女子大学 | 心理学、臨床心理学  
Keiichiro Ishimaru Ochanomizu University, Psychology/Clinical Psychology

大橋 史恵 お茶の水女子大学 | ジェンダー研究、国際社会学  
Fumie Ohashi Ochanomizu University, Gender Studies/Transnational Sociology

倉光 ミナ子 お茶の水女子大学 | 人文地理学、地域研究  
Minako Kuramitsu Ochanomizu University, Human Geography/Pacific Studies

宝月 理恵 お茶の水女子大学 | 医療社会学、歴史社会学  
Rie Hogetsu Ochanomizu University, Medical Sociology/ Historical Sociology

森 義仁 お茶の水女子大学 | 基礎化学、非平衡系化学  
Yoshihito Mori Ochanomizu University, Basic Chemistry/Nonequilibrium Chemistry

脇田 彩 お茶の水女子大学 | 社会学、社会調査法、社会階層論  
Aya Wakita Ochanomizu University, Social Stratification/ Gender Studies/ Social Research

学外編集委員 Advisory Board

板井 広明 専修大学 | 経済学史、社会思想史  
Hiroaki Itai Sensyu University, History of Economic Thought

金井 郁 埼玉大学 | 経済学、ジェンダー研究  
Kaoru Kanai Saitama University, Labor Economics/Gender Studies

北原 恵 大阪大学名誉教授 | 表象文化論、視覚文化論  
Megumi Kitahara Osaka University, Culture and Representation/Gender Studies

仙波由加里 お茶の水女子大学ジェンダー研究所研究協力員 | ジェンダー研究、生命倫理学  
Yukari Semba Ochanomizu University, IGS Affiliated Researcher, Gender Studies, Bioethics

ジャン・バーズレイ ノースカロライナ大学名誉教授 | 日本学、ジェンダー研究  
Jan Bardsley University of North Carolina, Japanese Humanities/Gender Studies

平野 恵子 横浜国立大学 | ジェンダー研究、国際社会学、インドネシア地域研究  
Keiko Hirano Yokohama National University, Gender Studies/ Transnational Sociology/  
Indonesian Area Studies

三浦 まり 上智大学 | 政治学、ジェンダーと政治  
Mari Miura Sophia University, Politics/Gender and Politics

編集事務局 Associate Editors

本山 央子 お茶の水女子大学ジェンダー研究所  
Hisako Motoyama Institute for Gender Studies, Ochanomizu University

嶽本 新奈 お茶の水女子大学ジェンダー研究所  
Niina Takemoto Institute for Gender Studies, Ochanomizu University

黒岩 漢 お茶の水女子大学ジェンダー研究所  
Baku Kuroiwa Institute for Gender Studies, Ochanomizu University

日本語校閲 Proof Readers

山口 裕二  
Yuji Yamaguchi

和田 容子 お茶の水女子大学ジェンダー研究所  
Yoko Wada Institute for Gender Studies, Ochanomizu University

『ジェンダー研究』27号 2024年7月31日 発行

編集・発行 お茶の水女子大学ジェンダー研究所  
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1  
Tel: 03-5978-5846

Email: [igsoffice@cc.ocha.ac.jp](mailto:igsoffice@cc.ocha.ac.jp)

URL: <https://www2.igs.ocha.ac.jp/>

表紙デザイン 塩飽 晴海

印刷・製本 株式会社 白峰社

**Foreword**

- 1 Ki-young Shin

**Special Section: Sexuality and Violence in Global Politics**

- 5 Womenomics Theories of Sexual Violence: Governing Toxic Men  
Carol Harrington
- 23 From Security Threat to Subject of Protection:  
Examining Global Sexuality Politics in the Refugee Protection Regime  
Haruko Kudo
- 41 Gendered Orientalism and the Power to Define: Case Studies of Israel and Egypt  
Hiroko Minesaki

**Articles**

- 59 Gendered Representations of the “Third World” Produced by a Japanese International Cooperation NGO:  
Critiquing Colonialism in a Postfeminist Frame  
Rintaro Kondo
- 75 Mothers Reading *Regretting Motherhood*: A Feminist Participatory Action Research  
Aya Kitamura
- 89 Public-Third Sector Comparison of Municipal Non-Permanent Employees:  
National Survey Results for Gender Equality Center Counselors  
Mai Yokoyama and Kentaro Seto
- 105 Why Are Economic Resources Not Utilized in ‘Intra-Household Decision-Making’?:  
Empowerment of Married Working Women in Urban India  
Megumi Niimura
- 122 Book Reviews
- 160 Editorial Guidelines

Journal of Gender Studies No. 27      Date of Issue: July 31, 2024

Publisher: Institute for Gender Studies (IGS), Ochanomizu University  
2-1-1 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-8610, Japan  
Tel : 81-(3)-5978-5846  
Email: [igsoffice@cc.ocha.ac.jp](mailto:igsoffice@cc.ocha.ac.jp)  
URL: <https://www2.igs.ocha.ac.jp/en/>

Cover Design: Harumi Shiwaku  
Printing and Bookbinding: Hakuhousha Co., Ltd